

<資料1 3年間を見通した年間指導計画>

	1年生										2年生										3年生																
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
題材の指導内容・方法等	ガイダンス	中学生に必要な栄養を満たす食事										日常食の調理と地域の食文化										衣食住の生活についての課題と実践															
	自分の成長と家族家庭生活	・食事が果たす役割・健康に良い食事の工夫										・栄養素の種類とはらき、食品の栄養的特質 ・中学生の1日分の献立の工夫										・さまざまな食品とその選択 ・日常食の調理 ・地域の食文化							・購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理								
	A(1)ア	B(2)ア(ア)(イ)、イ										B(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)、イ										B(7)ア															
	2	5										18										4															
身近な大人	栄養教諭、家族、地域の人材活用、ゲストティーチャー 食材の生産者、スクールサポーター、給食センター										消費生活センターのゲストティーチャー 地域の企業のゲストティーチャー										保護者ボランティア 地域の人材活用																
	地場食材、地域の食文化 食品表示、ラベル、パッケージ 調理器具の扱い 献立カード、給食の献立 パソコン、実物投影機、ICT機器、DVD										金銭管理帳(スプレッドシート) 春休みの生活設計表 食品表示、ラベル、パッケージ レント エブリディ消費者										制服や私服 給食の白衣																
	調理実習 保護者の想い 栄養教諭の講話(栄養素、食中毒) 生産者の想い 動画の視聴(栄養、食中毒) ゲストティーチャーの授業 防災献立(災害時の調理、ローリングストック)										自分の消費行動の発表 食品ロスの削減のアイデア 自分の消費行動の確認 春休みの設計 アプリケーション(買い物の疑似体験)										給食白衣の修繕 衣服の手入れのレポート作成																
	赤ちゃん交流会 妊婦体験 読み聞かせ 幼稚園訪問										UDとしての視点 ハザードマップ 避難経路の確保 避難所としての共同生活										児童館スタッフ 保健師 民生委員、児童委員																
ひと・もの・こととの関わり	おもちや 絵本 乳児人形 妊婦体験キット										安全な住まい(消防庁の資料) チャイルドビジョン 高齢者安全キット 間取り図 危険箇所の点検 写真、動画										メッセージカードや動画の作成 一人一台端末を使っ てのプレゼンテーション																
	実践後のレポート										友だちの考え										実践後のレポート																
	地域の高齢者世帯数などのデータ										赤ちゃん交流会 妊婦体験 読み聞かせ 幼稚園訪問										地域の高齢者世帯数などのデータ																
	レポートの作成										レポートの作成										レポートの作成																

<資料2 紀要関係>

実践例1 自分が住みたい美和～とものつくろう元気な町～ 実践的推論プロセス

実践的推論プロセス	学習活動	「〇ひと・◎もの・●こと」との 関わり	
<p>◇先行的実践 「Do」から始める</p> <p>◇問題への着目</p> <p>◇問題の特定</p>	<p><u>総合的な学習の時間</u></p> <p>「美和地区の魅力調べ学習」 「美和中から発信していく美和の未来」 →探究学習のプロセス（課題設定、情報収集、整理分析、まとめ・表現）の積み上げ</p> <p>①問題に気付く（第1～4時） ・10年後の自分や地域を想像する ・高齢者の生活や身体的特徴を知る →「10年後、25歳になったら自分や家族の生活はどう変わっているだろうか？」</p> <p>②現状を把握する（第5時） ・個人テーマの再確認 ・グループでの話し合い活動 →「自分の考えたテーマは、美和地区に住んでいる人たちのことを考えたものになっているだろうか？」</p>	<p><u>〇ひととの関わり</u> ゲストティーチャー、 地域住民</p> <p><u>◎ものとの関わり</u> 個人テーマ発表資料</p> <p><u>●こととの関わり</u> 地域性、地域の人の思い</p> <p><u>〇ひととの関わり</u> 家族、幼児、高齢者</p> <p><u>●こととの関わり</u> 高齢者疑似体験</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">グループ および</p>
<p>◇解決の選択肢の検討</p>	<p>③情報を収集する（第6時：本時） ・地域の方々のビデオメッセージ「中学生に望むこと」視聴 →「美和地区の人たちの思いや意見を聞いて、自分が考えたテーマを実現するためには、地域の人たちとどのようにかわり、協力・協働していけばよいだろうか？」</p> <p>④情報を多角的に検討する、⑤解くべき課題を設定する ・ビデオメッセージを基に自分の考えをまとめる</p> <p>⑥課題解決のための方策や案を工夫する ・グループで意見を伝え合う</p> <p>⑦多角的に評価検討する ・自分の考えを再構成する</p>	<p><u>〇ひととの関わり</u> 学校評議員3名、 PTA会長</p> <p><u>◎ものとの関わり</u> 一人一台端末を使っ たプレゼンテーション</p> <p><u>●こととの関わり</u> 総合的な学習の時間の 経験、知識</p>	

◇決定と行動	8 実行する計画を決定する（第7時）、9 実行する ・今の自分たちが、家庭や地域の人たちのためにできることを考え、実行する →「地域に発信するために、今の自分たちにできることは何だろうか？」	○ひととの関わり 地域住民との交流 ◎ものとの関わり メッセージカードや 動画の作成 ●こととの関わり お店や施設への訪問	↓
◇省察	⑩結果を振り返る ・実行したことを振り返り、成果と課題を明らかにする。		

<本時授業案(6/7)>

(1) 本時の目標

自分の考えたテーマを実現するために、地域の方々の声や思いを聞くことで、地域の人たちと協力・協働していかなければならないことに気づき、高齢者の経験を生かした活動や地域の人たちと協力・協働できる活動を工夫することができる。
【思考力、判断力、表現力等】

(2) 本時の展開

段階	教師の働きかけと予想される子どもの現れ	留意点・評価
つかむ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">地域の人達は中学生にどんなことを望んでいるだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者体験して、お年寄り歩くのが大変だったから介護してほしいとか。 ・困っている人を助けてほしいとか。 ・何だろう。地域の人って親も入る？親は勉強だな。 ・地元をもっと愛してとか？ ・お手伝いをしてほしいとか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">地域の方々の声を聞いてみよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人とは、自分の親も含めて、子どもから高齢者まで幅広いことを抑える。
ついきゆうする	<ul style="list-style-type: none"> ・えー、考えてもみなかった。 ・地元に戻ってくるか。 ・介護だけでなく、高齢者の経験を活かしたり、一緒に活動したりすることが大切なんだ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">美和地区の人達の思いや意見を聞いて、自分の考えたテーマを実現するためには、地域の人たちとどのように関わり、協力・協働していけばよいらう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学び合い ①自分の考えをまとめる ②班で意見を伝え合う ③それぞれの考えや意見を聞き、アドバイスをし、伝え合う </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に準備したビデオインタビューを紹介する(学校評議員3名、PTA会長) ・総合で調べた美和の未来を活用する。
つなげる	【再構成】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分のテーマには、高齢者など自分と違う世代の人たちと関わる内容が足りないなあ。 ・元気な高齢者は、介護される立場だけでなく、今までの経験を活かして地域の中で積極的に活動できる立場でもあるよな。 ・どうしたらいろいろな立場の人が一緒になって活動する場をつくることができるのかなあ。 ・自分たちの世代だけ楽しんだり、盛り上がったたりしていても、美和地区の未来はいいものにならないよな。 ・関わるって言っても、知らない高齢者とかと話をしたり、活動したりするのは 	<ul style="list-style-type: none"> 学び合いのグループ編成 自分と違うテーマ(お茶・自然・福祉)の生徒同士で4人グループを編成し、互いに違う視点からアドバイスする。(4人×6グループ) ・自分で考えたテーマを実現するために、地域の人たちとどう関わり、協働していけば良いか、友達のアドバイスや話し合った内容をまとめていく。

	<p>勇気がいるかも。</p> <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美和地区の未来を考えると、一部の人のことしか考えていなかったけれど、自分たちと違う世代の人たちの考えを知ることが大切。そのためには、一緒に話ができたり、交流したりすることが大切だと思った。 ・自分たちのことだけでなく、周りの人達と協力・協働してやれるような活動も入れなくてはだめだ。 ・美和地区を魅力ある街にするためには、もっと地域の人たちと一緒に考えたり、行動したりすることが必要かも。 ・元気な高齢者もいっぱいいるから、やれることはやってもらうことが大切。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【思考・判断・表現①】 ワークシート </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 【主体的に学習に取り組む態度①】 発言、ワークシート </div>
--	---	--

実践例2 幼児と一緒にハッピータイム 実践的推論プロセス

推論プロセス	学習活動	「〇ひと・◎もの・●こと」との関わり
◇問題への着目 (第1時)	①問題に気付く <ul style="list-style-type: none"> ・小さい頃に好きだった本は何だろう (読み聞かせの思い出を振り返る) ・読み聞かせをしてみよう 動画撮影1 ②状況を把握する <ul style="list-style-type: none"> ・友達からのアドバイスをもらおう 	<u>◎ものとの関わり</u> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の経験(本) <u>〇ひととの関わり</u> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の経験(両親・保育園、幼稚園の先生) <u>●こととの関わり</u> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が読んでいる動画1
◇問題の特定 (第2～4時)	③情報を収集する ④多角的に検討する <ul style="list-style-type: none"> ・どんな風に読み聞かせたらいいのかな? ⑤解くべく課題を設定する <ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を決める 	<u>〇ひととの関わり</u> <ul style="list-style-type: none"> ・友達からのアドバイス ・学校の司書からの話
◇解決の選択と検討 (①第5時：本時) (②第3時：本時)	⑥課題解決のための方策や案を工夫する <ul style="list-style-type: none"> ・どんな本がいいのかな?どんなふう読めばいいのかな?幼児に楽しんでもらうにはどうしたらいい? ⑦多角的に評価検討する <ul style="list-style-type: none"> ・図書館で読み聞かせをやっている司書さんの話を聞こう 	<u>〇ひととの関わり</u> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書のメッセージ
◇決定と行動 (第6時)	⑧実行する計画を決定する <ul style="list-style-type: none"> ・自分の読み聞かせでの着目点を確認する。 ⑨実行する <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせをしてみよう 動画撮影2 	
◇省察 (第7時)	⑩結果を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・1回目と2回目の読み聞かせの変化を見つけてみよう 	<u>●こととの関わり</u> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が読んでいる動画1・2

グループおよび全体での話し合い

	・読み聞かせが幼児の発達に与える影響は何だろう	・読み聞かせに関する過去の経験 ○ひととの関わり ・友達からの感想	↓
--	-------------------------	---	---

<本時授業案①（5／7）>

（1）本時の目標

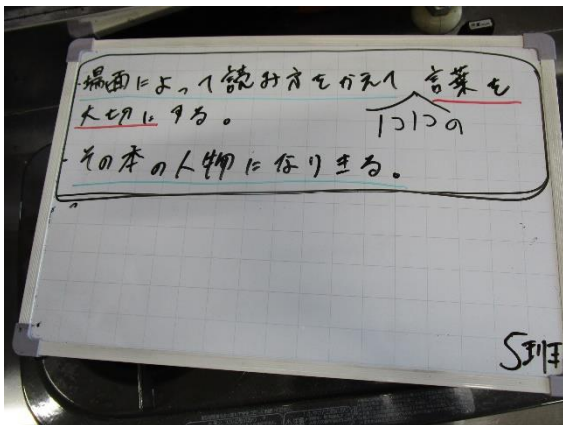
幼児に絵本の楽しさ、言葉の面白さを伝えたいと考えた生徒が、児童館で読み聞かせをする方のインタビューを見ることを通して、自分の読み方や関わり方について、改善する点や工夫する点をもう一度考え直し、次の読み聞かせに生かすことができる。【思考力、判断力、表現力等】

（2）本時の展開

	教師の働きかけと予想される生徒の表れ	○評価規準・留意点 ※支援
つかむ	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">グループでよりよいよみきかせができるようにしよう</p> <p>☆前時のふり返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見の再確認をグループで行う。 <p>☆グループでの意見を他のグループに伝えよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・先生の視線ってどうだった。 ・本の持ち方には気を付ける。 ・読み方はゆっくりしてたよね。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のふり返りがはっきりできるように、確認させる。
ついきゆうする	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">幼児に絵本の楽しさ、言葉の面白さを伝えるために読み聞かせをしたい。どうすればいいのだろう。</p> <p>☆個で考えたあと、グループで考えよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・絵をしっかり見せることが必要だよ。 ・ゆっくり読むことが大切で、言葉を覚えるよね。 ・座り方は、考えない楽しさを伝えられないよね。 </div> <p>☆動画から読み聞かせをするための話を見てみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なことはメモをさせる。 <p>☆グループでの意見が出た、動画も見たね。幼児に絵本の楽しさ、言葉の面白さを伝えるために読み聞かせをしたいよね。もっと工夫できそうなところ、改善できそうなところをもう一度考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の特性をもう一度確認する ・視点：集中力、言葉 <p>〈再構成〉</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・集中力が続くように読む声のトーンを考えないといけないよね。 ・読み方がゆっくりになると、言葉も伝わるから、言葉の発達になるんじゃないかな。 ・絵本が見える位置に座ってもらって、手遊びを入れてから絵本に入っていくのはその場に居ることができるようになるのかな。 </div>	<p>※グループになったときに自分の考えが伝えられるよう、まず自分の考えをプリントに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを使って、全体に共有しやすくする。 <p>手立て1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの伝え合い。 <ul style="list-style-type: none"> ・事前に保存した動画を視聴する。 <p>手立て2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー。 <p>手立て3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の確認。 <p>※司書の言葉も既習事項に結び付ける。</p>
つなげる		

<p>〈 本時の目標を実現した子どもの姿 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただ読めばいいと思っていたけど、工夫することがたくさんあった。面白さを伝える関わり方の一つとして、読み聞かせに挑戦したい。 ・絵本を読むだけでも幼児との関わりになると知れたので、地域の活動でそういったものがあれば、挑戦してみたい。 <p>〈 本時のふり返し 〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画から、子どもはゆっくり読むことで、言葉を覚えることができる。読み聞かせは奥が深いと思う。自分たちがやってもらっても引き込まれるから、そんな雰囲気が出せるように次の授業に取り組みたい。 	<p>・動画を見て、自分たちで改善する点や工夫する点を考え、意見の共有ができるようにする</p> <div data-bbox="1133 380 1484 504" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【思考・判断・表現】 (発言内容、ワークシート)</p> </div> <div data-bbox="1133 537 1484 660" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 (観察、ふり返しカード)</p> </div>
--	--

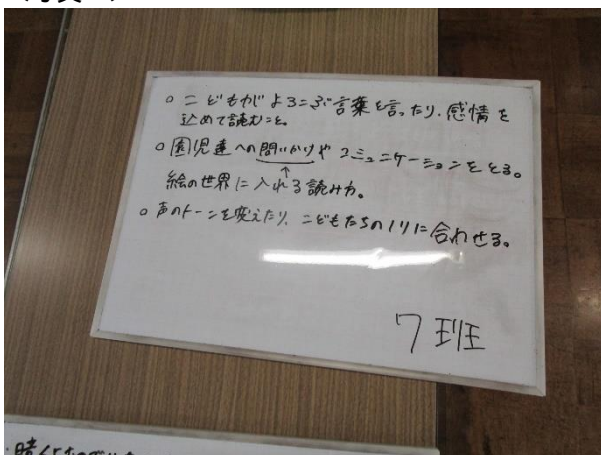
<写真1 幼児に喜んでもらう読み聞かせの仕方>



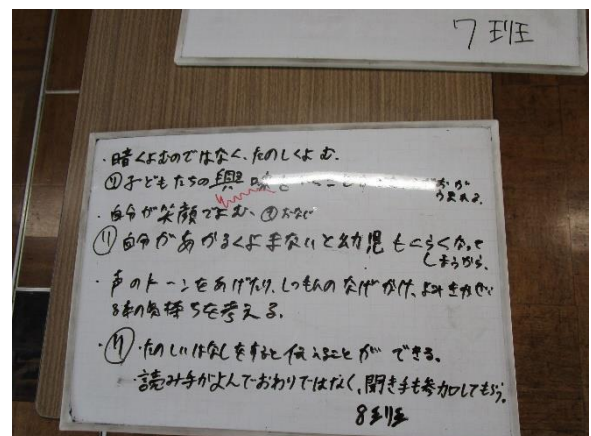
<写真2 地域の図書館司書からのアドバイス>



<写真3>



<写真4>



<本時授業案②（3／5）>

（1）本時の目標

大人が幼児に絵本を読んでいる動画や写真、1回目の自分の読み聞かせの動画などの視聴を通して、自分の読み聞かせについて、改善点や工夫点を考え、絵本を用いた幼児とのよりよい関わり方を工夫することができる。【思考力、判断力、表現力等】

（2）本時の展開

	教師の働きかけと予想される生徒の表れ	○評価規準・留意点 ※支援
つかむ	<p>自分の読み聞かせをよりよくしよう</p> <p>○前時のふり返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の読み聞かせをよりよくするために工夫することの確認 <p>○大人が幼児に絵本を読んでいる映像や写真を見てみよう。</p> <p>○どんなことに気付いたかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児の顔を何度も見たり、幼児に話しかけたりしていた。 ゆっくりとした口調で絵本を読んでいた。 幼児は立ち上がったたり絵本を触ったりしていた。 大人も幼児も楽しそう。 絵本を読みながら、幼児とコミュニケーションをとっている。 <p>○前回の自分の読み聞かせと比べてどうだった？</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像では、すごくゆっくり読んでいた。 自分は読むことばかりに集中して、幼児の顔を見ていなかった。 幼児役の子とコミュニケーションがとれていなかった。 	<p>・保育士による読み聞かせの動画を視聴させる。</p>
ついきゆうする	<p>自分の読みかさをよりよくする工夫を考えよう</p> <p>○今見た映像を参考に、前回撮影した自分の読み聞かせの動画を見ながら、読み聞かせをよりよくするための工夫を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> もっとゆっくり読むことで、幼児が聞き取りやすくなり、幼児も物語を楽しめると思う。 仕掛けのついている絵本は、幼児が自分で仕掛けを触った方が楽しいと思うから、幼児を隣に座らせて読んでみよう。 絵本を指さしながら、「これは何だろう？」と話しかけてみよう。 上手に読むだけでなく、幼児と関わりながら、自分も幼児も絵本を楽しめる時間にしたいな。 <p>○自分が絵本を読むときに工夫したいことをワークシートにまとめよう。</p> <p>○友達の見聞も聞いてみよう。</p>	<p>・ワークシートを配布する。</p> <p>・一人一台端末で、いつでも自分の動画を見られるようにする。</p> <p>※自分の工夫したいことが思い浮かばない生徒には、1回目の発表で意識したことを聞き、それさらによりよくするための手立てを考えさせる。</p>
つなげる	<p><自分の考えを再構成></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の持ってきた絵本は仕掛け絵本なので、幼児の横に座って一緒に仕掛けを触りながら読もう。対面で仕掛けを見せるよりも、幼児が楽しめると思う。 読んでいる途中で幼児が話しかけてきたり、絵本に触ったりしてきたときは、一緒に楽しんで、コミュニケーションを取るようにしたい。 	<p>【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p>

○今日の授業の振り返りを書きましょう。

<本時の目標を実現した子どもの姿>

・前回の読み聞かせでは、無意識に早口になってしまう場面があった。班員から、幼児が安心して絵本を楽しめるように笑顔で読んだ方がいいという意見をもらったので、今回は、ゆっくり読むことと、明るい表情を意識して読みたい。さらに、自分の絵本は、仕掛けが付いているので、幼児の隣で絵本を読むことで、一緒に仕掛けを触りながら読んで、幼児と関わりたいと思った。

【主体的に学習に取り組む態度】
(観察、ふり返りカード)

読み聞かせをさらによりよくしよう 3年 J組

① 映像や写真からどのようなことに気づいた？

指を使わずに丸見と見せ下す、本を話題にして読まず終わらなれど見せ下す。
手は読んだだけなくフリフリ動かした。
声にメリハリがある。登場人物が変わると声を変え下す。
丸見で「〜知っているよ、〜」みたいな言葉を発した時に1人だけ反応した。
丸見の顔を1人だけ見ながら長い時間合わせ下す。
教の姿に子どもが反応するのを表に出して楽しめていた。

・効果音
・話スチ
・距離近い
・幼児自由な対応
・お祈り

② 自分の読み聞かせをよりよくするための工夫を考えよう。

絵本のタイトル	ぎゅんぐんぐんぐんぐんぐんぐん
読み聞かせをよりよくする工夫点とその理由	○相手の目をなるべく見る。(本が)見ると ↳ 目を見ないと子どもが不安に感じる。(興味を失って) 一語に繋ぐため 子どもと目線表情を合わせて楽しむ。少しづつ声を出して。 (目を見ずとも、楽しんで読むための工夫がある。) 下の子 → 楽しく読んで声を出して自分も楽しむように変える。 ○メリハリ(読む)の心地がいい。 ↳ 他クラスのメンバーが話を聞いて内容を覚えていく感じが感じ下す。 (子どもは理解が早い時間だからかもしれない) 発音や指差しは出来るけれど ○おもしろい絵本がないので、おもしろい絵本を探した。 1ページに1枚程度を入れることでは7ページ「〜」の部分、極端に速度は強く読む。その後「〜」と読んで、子どもと話を。楽しんで読むことが出来た。「楽しんで読むこと」を意識して話す。本を読んでいる時に子どもは共有できている。(話の展開がわかるから)

③ 今日のふりかえり

自分の読み聞かせの映像を見て全然別な方法見下す。
次回は子ども(傍)の人に楽しんで読むように、音の工夫と意図的な読み聞かせを
(時に丸見も目、絵も活用する)
自分の大好きな絵本を幼稚園で愛読書にしたい。絵はかわいくて楽しく読下す。自分も楽しんで読む。
と自分の好きな絵本を選んで読んで下す。



実践例3 高齢者とつながるふれあいプロジェクト 実践的推論プロセス

実践的推論プロセス	学 習 活 動	「〇ひと・◎もの・●こと」との 関わり		
◇問題への着目 (第1時) ◇問題の特定 (第2時) ◇解決の選択肢の 検討 (第2時)	①問題に気付く ・地域で活躍する高齢者を知ろう。 ・高齢者が暮らしの中で困っていることを知ろう。 ②現状を把握する ・高齢者の特徴について考えよう。 ③情報を収集する ・近くの高齢者に会いに行ってみよう。 ・インターネットで調べてみよう。 ・新聞やテレビを見てみよう。 ④情報を多角的に検討する ・高校のダンス部の特殊詐欺防止対策体操を 見てみよう。 ・いろいろなことができそうだ。	〇ひととの関わり 高齢者へのインタビュー ●こととの関わり インターネットや新聞、テレビ等で調べる。	グ ル ー プ お よ び 全 体 で の 話 し 合 い	
◇決定と行動 (第3時)	⑤解くべき課題を設定する ・自分たちにできることは何だろう。 ⑥課題解決のための方法や案を工夫する ・高齢者の実態を踏まえながら、自分たちにできることを考えてみよう。	◎ものとの関わり 調べたことや解決策を一人一台端末でまとめてプレゼンテーションする。		
(第4時：本時)	⑦多角的に評価検討する ・班の考えをよりよいものにするために、みんなの意見を聞こう。 ⑧実行する計画を決定する ・こうしたらもっとよくなるんじゃないかな	〇ひととの関わり 友達へのアドバイス、アドバイスをもとに班での再検討 ◎ものとの関わり 一人一台端末で意見を集約し、共有する。		
◇省察	⑨実行する ・実際にやってみよう。 ⑩結果を振り返る ・高齢者のために、自分たちにもできることがあるんだ。			

<本時授業案(4/5)>

(1) 本時の目標

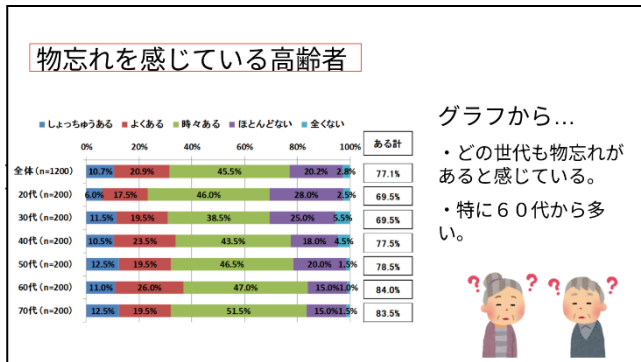
小集団で高齢者が暮らしの中で困っていることを解決するための方法を考え発表することを通して、地域の一員として中学生にできることを再検討して改善したものを論理的に書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

(2) 本時の展開

段階	教師の働きかけと予想される子どもの表れ	留意点・評価
つかむ	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地域の一員としてできることを考えたものを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の方法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の方法を説明する。
ついきゅうする	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">高齢者が暮らしの中で困っていることを解決するために、地域の一員としてできることは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小グループで考えたものをプレゼンする。(1班3分) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちのグループは、転倒しやすいという困り事を解決するために、荷物を持ってあげたり、一緒に歩いたりすることを考えました。サポートするために、困っていることに対して積極的に自分から声をかけたり、普段から関わりをもったりすることが大切だと思いました。 ・体に負担のかかる動きをすることが辛いことを解決するために、高齢者サポートセンターを作ることを提案します。 ・デジタル化についていくことができないという高齢者が多くいます。これを解決するために、使い方講座を中学生で開こうと思います。 </div> <p>○端末上の共有ワークシートを各グループで見、改めて自分たちのグループの考えたものを再検討しよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サポートセンターは一部の中学生ではなくて、生徒会で作ると全校生徒が関わることができるんじゃないかな。 ・本当に中学生が講座を開くことができるかな。困っている人がいたら声をかけて教えることだけでもいいと思う。 ・知らない人には声をかけづらいから、日ごろからあいさつをしたり、地域の行事に出たりすることが必要だよ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><目標を実現した子どもの姿></p> <p>高齢者の手助けをするということを考えたが、アドバイスをもらって、知らない人に急に声をかけることは自分たちもなかなかできないので、普段から地域の行事に参加したり、自分たちからあいさつをしたりすることも必要だということに気が付いた。日頃から積極的に関わることもできることだと思う。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を使うグループはTVとつないで班で共有する。 ・プレゼンしたのに対して、良い点や改善点を考え、端末上での共有ワークシートにそれぞれ入力する。 ・共有ワークシートを参考にし、改めてグループで考え、それぞれのワークシートに記述する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地域の一員として中学生にできることを再検討して改善したものを書くことができる。【思考・表現・判断】</p> </div>
つなげる	<p>○今までの学習を振り返ってみよう</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・私たち中学生にもできることがあることがわかった。私たちにもできることを考え、積極的に行動していきたいと思う。 ・あいさつをしたり、困っている人がいたら声をかけたりして、日頃から高齢者の人たちと関わり、何かあったときは助けられるようにしたい。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地域の一員として中学生でもできることを考え、地域のために自分にできることを考え実践しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> </div>

<スライド>



なぜ、間違いさがし？

- 写真や絵を見比べて間違いを見つけるには瞬間的な記憶力や観察力、集中力を必要
- 特に視覚系の脳細胞の活性化が期待できる

<解決案>

- 地域内でスタンプラリーを行う。
- クイズを出す。
- 間違い探しをとく。
- 散歩がてらに行ってもらおう。

利点

- 普段あまり使わない知識や言葉
- 歩くため健康増進！
- 交流につながる

工夫した点

- 字を大きく太く
- 誰でも分かる問題
- 見づらくないように

<写真>



題材で身につける資質・能力	問題への着目 (Do)	問題の特定 (Check)	解決の選択肢の検討 (Action)	決定と行動 (Plan Do)	省察 (Check)
	○ひと	◎もの	●こと		
(1) 自分の成長と家族・家庭生活 ・家族・家庭の基本的な機能の理解 ・家族や地域の人々と協力・協働して生活を営む必要のあることの理解	●家族疑似体験 ●過去の経験 ○身近な大人	○友達の考え ◎ICT 機器の活用	自分がなりたいハッピーファミリー		
(2) 幼児の生活と家族 ・幼児の発達と生活の特徴の理解 ・子どもが育つ環境としての家族の役割の理解 ・遊びの意義と幼児とのかかわり方の理解 ・より良いかかわり方の工夫	●過去の経験 ○両親・幼稚園・保育園の先生 ◎おもちゃ・絵本	○友達の考え ◎パソコンを利用した調べ学習	幼児と一緒にハッピータイム	○友達 ○両親・幼稚園・保育園の先生 ◎ICT 機器の活用	●幼児とのふれあい体験 ●疑似体験 ●レポート作成 ◎ふれあい体験時の動画
(4) 家族・家庭生活についての課題と実践					
(3) 家族・家族と地域との関わり ・家族の立場や役割の理解 ・協力による家族関係の向上の理解 ・家庭は地域との相互の関係で成り立っていることの理解 ・高齢者や地域の人々との協働の必要性の理解 ・介護など高齢者とかかわり方についての理解 ・家族関係をよりよくするための工夫 ・高齢者や地域の人々と関わり・協働する方法の工夫	○両親・祖父母 ○地域の人々 ○高齢者施設で働く人々 ○警察官・民生委員・自治会の役員 ●高齢者体験	◎ICT 機器の活用	高齢者とつながるふれあいプロジェクト	○高齢者との関わり ○地域の人との関わり ◎ICT 機器の活用	●レポート作成 ◎プロジェクト時の動画
(4) 家族・家庭生活についての課題と実践					

<資料3 授業関係 題材計画>

		学習活動（○教師の働きかけ ・予想される子どもの表れ）	留意点と総括的評価の材料とする評価
つ か む	第 1 時	<p>地域の人々はどんな生活を送っているのだろう</p> <p>○地域の活動にはどんなものがあるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の運動会 ・地域安全パトロール ・地区防災訓練 ・お祭り ・PTA 活動 ・地域清掃 ・リサイクルゴミ回収 ・こども会 <p>○自分が関わっている地域の活動はどんなものがあるだろう。</p> <p>○地域の暮らし、現状を知ろう（自治会長の話 VTR）。</p> <p>○地区のデータから地域の様子を知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核家族が多い。 ・高齢者が多い。 ・清水区は高齢者の交通事故が多い。 <p>○飯田地区のよりよい生活についてどんなことが考えられるだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人たちが、地域のよりよい日常生活のために活動しているんだな。 ・自分はあまり地域に貢献していない。助けられている部分が多い。 ・地域の中で、高齢者の生活支援や子育て支援など、様々な生活の支援が行われているけれど課題も多いんだな。 ・コロナ期間を経て地域のつながりが薄れているんだな。 ・高齢者に向けての支援は、もっと何かできそうだな。 <p>高齢者など地域の人々とつながる「ふれあいプロジェクト」を届けよう</p> <p>地域の様子を聞くことで、地域の現状や様々な方が活躍していることが分かった。自分たちは、地域の人々に支えられている一方で、できることも有りそうだ。地域の一員として何ができるか考えたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に地域で行われている活動についてワークシートに記入しておく。 ・中学校家庭科では自分と家族や地域の人々とのかかわりまで視点を広げることを図に示して押さえる。 ・地域と自分たちとの関わりを図で確認していく。 ・活動に丸をつけて確認する。 ・自分たちが当たり前で生活している地域の暮らしについて、自治会長から伝えられる現状やデータから捉え直す。 ・ワークシートに記入する。 ・よりよい日常生活のためには、協働の視点が大切であることに気づかせる。 <p>家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っており、地域の人々と協働する必要があることについて理解している。</p> <p>【知識・技能】（ワークシート）</p> <p>「ひと」：自治会長（VTR） 「こと」：地区のデータ</p>
	第 2 時	<p>高齢者を理解しよう</p> <p>自分たちと高齢者は何が違うのかな</p> <p>○高齢者疑似体験をしてみよう。</p> <p>○高齢者の特徴や関わり方について、介護士さんから話を伺おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢とともに、視力、張力、筋力、記憶力などが低下するんだな。 ・高齢者になると、普段の生活の中でも事故やけがの危険が高まる。 ・できないことに苛立ったり、内向的になったりする高齢者もいるんだ。 ・できることは、自分でやりたいという気持ちも強いんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の一員である高齢者について理解するため、高齢者疑似体験を行う。（ゴーグル、マスク、軍手、重りなど） ・高齢者の身体的、心理的な特徴について、介護士から話を伺う。

	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">高齢者との関わりで大切なことはなんだろう</p> <p>○高齢者と関わる時には、どんなことに配慮したらいいだろう（身体的）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が立ち上がったたり、歩行したりするときに、少し介助してあげることで動作が楽になるんだね。 ・高齢者の話にじっくりと耳を傾ける。話すときはゆっくり、はっきり話す。 ・歌を歌ったり、折り紙をしたりするなど、声を出したり、指先を使ったりする機会をもつことが大切だと分かった。一緒にやることで高齢者も楽しんで取り組むことも分かった。 <p>○高齢者と豊かにふれあうために大切なことはなんだろう（心理的）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりをもって言葉をえらぶこと。 ・生きがいや高齢者の思いを認めること。 ・中学生から発信する安心感。 ・丁寧な言葉や行動。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が横断歩道のない道を渡ってしまう気持ちが少し分かった。介助があったことで、活動しやすくなった。 ・高齢者それぞれの思いを大切に思いやりをもって触れ合っていきたい。 </div>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">高齢者の身体的、心理的な特徴を知り、介護など高齢者との関わり方について理解している。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">【知識・技能】（ワークシート）</p> <p>「ひと」：介護士 「こと」：高齢者疑似体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業後、地域の高齢者施設を見学する。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ついきゅうする</p>	<p>第3時</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">高齢者など地域の人々をつなげる「ふれあいプロジェクト」を届けよう</p> <p>○地域の人々や高齢者は、何を望んでいるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の話を聞いたり、自分のことを知ったりして欲しいのかな。 ・できないことや困っていることを手伝って欲しいのではないかな。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">地域の人々や高齢者のために、私たちにできることは何だろう</p> <p>○地域の高齢者のために活動している方の取り組みや思いを知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者がもっと力を生かしたいと感じているのに、安心して活動できる場が少ないのか。 ・孤独で寂しい思いをしている高齢者が身近にいることは知らなかったな。 <p>○地域の人と中学生が協働できる活動を考えよう。</p> <p style="padding-left: 20px;">（ふれあいプロジェクトの企画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービス用に手遊び歌動画を作成する。 ・高齢者のための簡単料理レシピチラシを作成する。 ・地区防災訓練の時に、高齢者の方の訓練をサポートする。 ・クリスマスカードなどメッセージカードを作成する。 ・町内清掃・公園の石拾い・草取り。 ・啓発チラシ作成。 <p>○民生委員からアドバイスをもらおう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と地域がつながるプロジェクトであることを第1時の図で確認する。 ・第1時に学習した地域の活動を提示する。 ・民生委員が地域の課題だと感じていることを普段の活動を踏まえてお話いただく。 ・民生委員の思いから「ふれあいプロジェクト」のアイデアを次の視点から考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々のよりよい日常生活 ・地域の人との協働 ・高齢者との関わり ・中学生が実践可能 ・企画した活動について、民生委員か

	<p>○自分の考えた企画を「協働」「取り組みやすさ」で整理しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区防災訓練の場なら地域の高齢者と一緒にできそう。 ・料理好きを生かしてレシピを作ってみよう。可能ならば地域の料理教室も手伝ってみたい。 ・隣に住むおばあさんの資源回収物搬出の手伝いは取り組みやすい。 <p>○自分が取り組む「ふれあいプロジェクト」を決めよう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>中学生は地域から期待されていることを知った。昨年開催された防災訓練では、自分たちは言われたことしかやっていたけれど、今年は高齢者と積極的に話をしたり、関わったりして楽しく過ごす時間にした。自分たちにもできることがあると思う。</p> </div>	<p>ら「協働」「取り組みやすさ」の点からアドバイスしていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアについて、「協働」「取り組みやすさ」の視点で整理する中で、自分の活動として捉え直す。 ・第1時で考えたことにもつながると良い。 <p>「ひと」：民生委員</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定している。</p> <p>【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p> </div>						
<p>第4校時</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>高齢者など地域の人々とつながる「ふれあいプロジェクト」を届けよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>○「ふれあいプロジェクト」を企画しよう</p> </div> <p>○自分の企画をまとめよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の活躍の場があることは、生きがいや認知症の予防にもつながる。活躍の場を考えてみたい。参加できそうな学校行事を探す。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で減ってしまった高齢者の楽しみを、中学生の手で増やしたい。得意な料理で高齢者の力になりたい。 </td> </tr> </table> <p>○企画内容を検討しよう。(グループまたは個人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>グループの企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者と一緒に活動する「あいさつ活動」を企画する </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>個人の企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスを利用している高齢者のために、栄養があって簡単にできる料理のレシピを作成する </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の時間は中学生にとっては苦手な時間だが、高齢者にとっては活動しやすい時間なので、あいさつ活動は高齢者にとって取り組みやすく効果があるように思う。 ・あいさつを通して気持ちが伝わり生活の活力になる。高齢者の力になれるかな。 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、デイサービスで行われていた食事のサービスが中止となっている。 ・高齢者が自宅で簡単に作ることができる料理を紹介する。 ・直接高齢者に会うことは難しいので、レシピカードを作成して、デイサービスの際に民生委員さんに </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の活躍の場があることは、生きがいや認知症の予防にもつながる。活躍の場を考えてみたい。参加できそうな学校行事を探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で減ってしまった高齢者の楽しみを、中学生の手で増やしたい。得意な料理で高齢者の力になりたい。 	<p>グループの企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者と一緒に活動する「あいさつ活動」を企画する 	<p>個人の企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスを利用している高齢者のために、栄養があって簡単にできる料理のレシピを作成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の時間は中学生にとっては苦手な時間だが、高齢者にとっては活動しやすい時間なので、あいさつ活動は高齢者にとって取り組みやすく効果があるように思う。 ・あいさつを通して気持ちが伝わり生活の活力になる。高齢者の力になれるかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、デイサービスで行われていた食事のサービスが中止となっている。 ・高齢者が自宅で簡単に作ることができる料理を紹介する。 ・直接高齢者に会うことは難しいので、レシピカードを作成して、デイサービスの際に民生委員さんに 	<ul style="list-style-type: none"> ・次の視点で企画を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域・高齢者との協働になっているか ・地域のよりよい生活につながっているか ・自治会長や民生委員など地域の活動に、中学生としてどのように参加できるか工夫する。 ・取り組む課題ごとに大きなまとまりを作り、活動に応じてグループを作る。 ・企画を個人の活動にするか、グループでの活動にするかは、内容に応じて生徒が考える。 ・高齢者と直接関わるのが難しい場合には、間接的な関わりをどう充実するか考えさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の活躍の場があることは、生きがいや認知症の予防にもつながる。活躍の場を考えてみたい。参加できそうな学校行事を探す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で減ってしまった高齢者の楽しみを、中学生の手で増やしたい。得意な料理で高齢者の力になりたい。 							
<p>グループの企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者と一緒に活動する「あいさつ活動」を企画する 	<p>個人の企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスを利用している高齢者のために、栄養があって簡単にできる料理のレシピを作成する 							
<ul style="list-style-type: none"> ・朝の時間は中学生にとっては苦手な時間だが、高齢者にとっては活動しやすい時間なので、あいさつ活動は高齢者にとって取り組みやすく効果があるように思う。 ・あいさつを通して気持ちが伝わり生活の活力になる。高齢者の力になれるかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、デイサービスで行われていた食事のサービスが中止となっている。 ・高齢者が自宅で簡単に作ることができる料理を紹介する。 ・直接高齢者に会うことは難しいので、レシピカードを作成して、デイサービスの際に民生委員さんに 							

	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="279 181 694 392"> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生も地域の高齢者があいさつしてくれたら、前向きに挨拶を返すだろう。 ・双方にとって良い効果がある。 </td> <td data-bbox="694 181 1109 392"> 配付していただく。メッセージ動画を付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の食事のバリエーションが増える。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="279 392 1109 481"> ○ 仲間からアドバイスをもらい、企画書を改善しよう。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="279 481 694 817"> アドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に交通量の多いところに立ってもらうのは危険。安全で活動しやすい場所を考えた方がよい。 ・地域の方とふれあう機会になるので、名前を知ってもらってはどうか。 </td> <td data-bbox="694 481 1109 817"> アドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者も多いので、レシピは、1人分または2人分くらいで示すのがいいと思う。 ・作り方は、大きめのイラストや写真などでわかりやすくしたほうがいい。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="279 817 694 1108"> 改善すること <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所は正門の内側にしよう。普段入ることのない中学校で活動していただくことで、多くの中学生と関われるし、地域高齢者も興味をもってくださいるかもしれない。 </td> <td data-bbox="694 817 1109 1108"> 改善すること <ul style="list-style-type: none"> ・レシピの見えやすさ、分かりやすさを考えてデザインしよう。分量は1人と2人の両方を記載しよう。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="279 1108 1109 1444"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 高齢者の食事の時間が楽しくなるようなレシピ集を作りたい。例えば、字の大きさや写真の提示等を工夫してみようと思う。一人前の分量も示しておけば、様々な生活様式に合わせて使えることもできそう。 </div> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生も地域の高齢者があいさつしてくれたら、前向きに挨拶を返すだろう。 ・双方にとって良い効果がある。 	配付していただく。メッセージ動画を付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の食事のバリエーションが増える。 	○ 仲間からアドバイスをもらい、企画書を改善しよう。		アドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に交通量の多いところに立ってもらうのは危険。安全で活動しやすい場所を考えた方がよい。 ・地域の方とふれあう機会になるので、名前を知ってもらってはどうか。 	アドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者も多いので、レシピは、1人分または2人分くらいで示すのがいいと思う。 ・作り方は、大きめのイラストや写真などでわかりやすくしたほうがいい。 	改善すること <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所は正門の内側にしよう。普段入ることのない中学校で活動していただくことで、多くの中学生と関われるし、地域高齢者も興味をもってくださいるかもしれない。 	改善すること <ul style="list-style-type: none"> ・レシピの見えやすさ、分かりやすさを考えてデザインしよう。分量は1人と2人の両方を記載しよう。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 高齢者の食事の時間が楽しくなるようなレシピ集を作りたい。例えば、字の大きさや写真の提示等を工夫してみようと思う。一人前の分量も示しておけば、様々な生活様式に合わせて使えることもできそう。 </div>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定している。 【思考・判断・表現】 (ワークシート) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・他グループと交流しながら中学生の視点から企画内容についてアドバイスし合う。 ・改善した点は赤字で記入する。 (中学生の視点) <協働> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について解決策を構想している。 【思考・判断・表現】 (ワークシート) </div> <p>「もの」：ワークシート</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> 高齢者など地域の人々と関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (行動観察、ワークシート) </div>
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生も地域の高齢者があいさつしてくれたら、前向きに挨拶を返すだろう。 ・双方にとって良い効果がある。 	配付していただく。メッセージ動画を付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の食事のバリエーションが増える。 											
○ 仲間からアドバイスをもらい、企画書を改善しよう。												
アドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に交通量の多いところに立ってもらうのは危険。安全で活動しやすい場所を考えた方がよい。 ・地域の方とふれあう機会になるので、名前を知ってもらってはどうか。 	アドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者も多いので、レシピは、1人分または2人分くらいで示すのがいいと思う。 ・作り方は、大きめのイラストや写真などでわかりやすくしたほうがいい。 											
改善すること <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所は正門の内側にしよう。普段入ることのない中学校で活動していただくことで、多くの中学生と関われるし、地域高齢者も興味をもってくださいるかもしれない。 	改善すること <ul style="list-style-type: none"> ・レシピの見えやすさ、分かりやすさを考えてデザインしよう。分量は1人と2人の両方を記載しよう。 											
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 高齢者の食事の時間が楽しくなるようなレシピ集を作りたい。例えば、字の大きさや写真の提示等を工夫してみようと思う。一人前の分量も示しておけば、様々な生活様式に合わせて使えることもできそう。 </div>												
第5校時 本時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 高齢者など地域の人々につながる「ふれあいプロジェクト」を届けよう </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> ○「ふれあいプロジェクト」をよりよくしよう </div> <p>○企画した「ふれあいプロジェクト」を民生委員に紹介しよう。 ※民生委員に「ふれあいプロジェクト」案を提示し、アドバイスをいただく。</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="279 1724 694 1915"> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ活動は地域高齢者にも受け入れられやすい活動だとわかった。高齢者のペースに合わせることを大切にしたい。 </td> <td data-bbox="694 1724 1109 1915"> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な食材が好まれることが分かった。次の日のアレンジメニューがあると食事がさらに豊かになるんだな。 </td> </tr> </table> <p>○民生委員からのアドバイスをうけて、企画書を改善しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ活動は地域高齢者にも受け入れられやすい活動だとわかった。高齢者のペースに合わせることを大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食材が好まれることが分かった。次の日のアレンジメニューがあると食事がさらに豊かになるんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組む課題ごとに民生委員の方には2人程度入っていただく。 ・民生委員から、アドバイスをもらい、企画を改善する。 								
<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ活動は地域高齢者にも受け入れられやすい活動だとわかった。高齢者のペースに合わせることを大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食材が好まれることが分かった。次の日のアレンジメニューがあると食事がさらに豊かになるんだな。 											

	<p>改善すること</p> <p>何度か行うことで、地域高齢者にとってはふれあいの楽しみとなるため、1月、3月にも企画してみる。</p>	<p>改善すること</p> <p>高齢者にとって身近な食材を調査してレシピを作成する。高齢者の生活を考慮して食材について調べる手順も大切にしていく。</p> <p>○プロジェクトに地域の高齢者への思いをのせよう。</p> <p>・地域の高齢者も私たち中学生のことを「知りたい」と思っていることがわかったので、その思いに応えてみたい。</p> <p>民生委員の話から手間がかかるものは避けがちであることや、食材を買いに行くことさえも大変だとわかった。少しの手間で食事の時間が楽しめるようなレシピを考えて、教えてもらった施設で配付してもらおう。一人暮らしで外出が難しい高齢者には、民生委員を通して配付してもらおう。</p>	<p>・民生委員のアドバイスを参考に改善した点は青字で記入する。</p> <p>(中学生以外の視点) <協働></p> <p>・全体で改善した点を発表する中で、中学生からのアドバイスとの違いについて触れる。</p> <p>「ひと」: 民生委員</p> <p>高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について計画を考え、工夫している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>(行動観察、ワークシート)</p> <p>高齢者など地域の人々と関わりについて、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>(行動観察、ワークシート)</p>
<p>実践</p>	<p>○「ふれあいプロジェクト」を実践しよう。</p> <p>・デイサービス用に手遊び歌動画を作成し、地域の施設に届けた。高齢者に向けたメッセージカードもつけた。</p> <p>・高齢者のための簡単料理レシピチラシを作成した。民生委員さんが実施するデイサービスで配布していただくようにした。</p> <p>・防災訓練の時に、高齢者の方の訓練をサポートした。</p> <p>・クリスマスカードなどメッセージカードを作成し、近所の高齢者に直接届けた。民生委員さんをお願いして届けていただいた家庭もあった。</p> <p>・町内清掃・公園の石拾い・草取り ・啓発チラシ作成 など</p>		<p>・実践は、各自で行う。</p> <p>・地域防災訓練は総合的な学習の時間として参加する。</p> <p>・実践は、一人一台端末に記録しておく。</p> <p>「こと」: 各自の実践</p>

つなげる	第6時	<p>「ふれあいプロジェクト」報告会をしよう</p> <p>○計画をもとに、実践したことを発表し合い、評価しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区防災訓練に参加して、土嚢作りを一緒にやったよ。完成した土嚢は、自分が持ったよ。 ・隣の高齢者に啓発カードを届けたら、すごく喜んでもらえた。これからも時々、声をかけていきたい。 <p>○飯田地区のよりよい日常生活に向けて、今後、私たちにできることは何だろう</p> <p>○飯田地区のよりよい日常生活に向けて、地域の人々や高齢者とのように関わるとよいのか、話し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで当たり前で生活してきたけれど、もっと地域に関心をもつことが必要だと思った。 ・中学生の自分たちにも手伝えることがたくさんあった。 ・日頃から地域の方々とコミュニケーションをもつことが大切だと思った。 <p>「ふれあいプロジェクト」を通して、地域の一員として自分たちにできることがあると分かった。自分たちのプロジェクトで地域の人を喜ばせることができうれしい。これからも地域の人と積極的にコミュニケーションをとりながら、協力して地域を支えていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末を活用し、ペアやグループごとに実践を発表する。 ・高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について、それぞれの実践を評価し、コメントする。 ・自治会長、民生委員の方々にも参加していただき、評価していただく。 ・発表後、自分たちの実践を振り返って評価したり、友達のコメントをもとに考えを深めたりする時間を設ける。 <p>高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について、実践を評価したり改善したりし、課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。【思考・判断・表現】 (行動観察・ワークシート)</p> <p>「ひと」：地域の人</p> <p>高齢者など地域の人々と関わりについて、工夫し創造し、実践しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 (ワークシート)</p>
------	-----	--	---

<題材の目標を実現した子どもの姿(例)>

- ・高齢者になると、日常生活の中で難しくなったり、今までできたことができなくなってしまったりすることが増え、不便に感じていることがわかった。高齢者の思いを大切にして、場面に応じた必要な手助けができるようになりたい。**【知識・技能】**
- ・友達や民生委員からアドバイスをもらうことで、よりよい「ふれあいプロジェクト」を実践することができた。地域のために自分にもできることがあるとわかったので、今後地区の運動会にも参加してみたい。顔見知りになることで気軽に声をかけやすくなったり、お互いに困ったときの支えになったりできると思う。**【思考・判断・表現】**
- ・日頃のあいさつや声掛けを今後も継続しながら、地域とかかわりを大切にしていきたい。これからも自分にできることを生かして地域の期待に応えたい。**【主体的に学習に取り組む態度】**